



宮坂なお県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

初心を忘れず、2期目へ



リモートによる予算委員会勉強会に臨む宮坂奈緒県議

4月に行われた千葉県議会議員選挙に浦安市選挙区から立候補し、2期目の当選を果たした宮坂奈緒県議は、「浦安市民の負託に応えたい」と決意を固めています。これより先に行われた2月県議会予算委員会で、宮坂県議は質問に立ち、浦安市内の道路交通問題や不登校児童生徒の支援、里親制度などについて、県の施策を尋ねました。宮坂県議の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

宮坂委員 浦安市富岡小学校は、右折車両と直進車両による事故や、国道357号線からの住宅街流入車両による速度超過等、交通安全に対する要望が、小学校や自治会から多数上げられている。具体的には浦安市富岡小

学校脇十字路信号機設置、横断歩道の移設、時差式信号への変更、速度抑制対策等であり、これらの要望に対し、調査し改善していくことが必要であると考える。

宮坂委員 今年1月から水道料金のクレジットカード払いの申込受付を開始し、大変好評であると聞いているが、申し込み状況はどうか。

業務振興課長 本年1月6日の開始日から2月27日までの間で15万1737件の申し込みを受けている。

宮坂委員 申し込み状況についてどのように評価しているのか。

企業局長 申込みをスマートフォンなどから、24時間いつでも手軽に行える仕組みとしたことや、広報活動を行ったこと

宮坂委員 今年1月から水道料金のクレジットカード払いの申込受付を開始し、大変好評であると聞いているが、申し込み状況はどうか。

業務振興課長 本年1月6日の開始日から2月27日までの間で15万1737件の申し込みを受けている。

宮坂委員 申し込み状況についてどのように評価しているのか。

企業局長 申込みをスマートフォンなどから、24

時間いつでも手軽に行える

仕組みとしたことや、広報活動を行ったこと

時間いつでも手軽に行える

仕組みとしたことや、広報

活動を行ったこと

宮坂委員 さらに広報担当のキャラクターのスヌーピー切りカエルを活用して、トク、ラク、エコを打ち出したキャラバンイベントを県内のショッピングセンターで開催し、クレジットカード払いを周知して頂いているよう、異なる利用者の方が見込まれ、サ

事故多発 浦安市富岡地区 交通安全への対策要望

2月定例県議会予算委員会

そこでうかがうが、富岡地区について、今後どのような対策を行い、安全を確保していくのか。

交通規制課

富岡地区については、昨年

所における交通実態を分析した上で、交通指導取締りをはじめ定期周期式信号機の歩車分離式信号への改良や、道路管理者と連携した速度抑制のための物理的デバイスの設置検討など、個々の課題に応じた必要な対策を進めまいりたいと考えています。

県警では、それぞれの場

所における交通実態を分析した上で、交通指導取締りを見通しの改善や植栽の剪定、学校警備員の配置など、打

じながらも事故が多発してしまっている場所にならないよう、早急な対応をお願い

ます。

宮坂委員 これまで、浦安市としても見通しの改善や植栽の剪定、学校警備員の配置など、打

じながらも事故が多発してしまっている場所にならない

よう、早急な対応をお願い

県内
公立校

不登校児童生徒9951人



不登校シンポジウムで挨拶する宮坂県議

宮坂委員 县内公立学校の不登校児童生徒は9,951名で、そのうち4割が指導や相談等の何かしらの支援を受けられていないとのことで、今定例会でも千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例が

自民党より提出され議論されており、文部科学省では、不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、学校を指定し、特定の学校において

**不登校特例校
設置市町村に
十分な支援を**

里親登録、700組目標 関係機関のネットワーク必要

宮坂委員 さまざまなもの
事情で家族と暮らせない子どもを自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持つて子どもを養育する里親制度を私も推進していきます。

犬猫の $\frac{1}{4}$ に マイクロチップ

務づけられたことから、今後、装着率の上昇が見込まれるところです。

ております。

ているので、せひとも、千葉県としても後押しをできよう、要望する。

宮坂委員 犬猫のマイクロチップの装着状況はどうか。

宮坂委員 犬猫の飼い主への啓発については、どのように取り組んでいく

要望
宮坂委員 例えば
家にすでに飼ってい
る犬猫で、マイクロチップが

そこでうかがうか里親登録や委託の現状はどうか。
児童家庭課長 令和3年

課題としては「里親制度」社会的認知度が低く、登録の里親が少ないこと、「虐待による心理的影響や発達障害などにより、児童の抱える課題が複雑化し、専門的な支援が必要なケースが増えてること」「里親への支援体制の更なる整備が必要

クの着脱等をはじめとして、新型コロナウイルス対策において、差別や偏見が起こらぬよう、どのように取り組んでいくのか。

保健体育課長 学校でマスクの着脱等については、今後示される国からの通知を踏まえ、各学校に対し個

個知の組なよた
を無理強いしないことを具体的な対応を示し、や偏見が起こらないよう導いてまいります。
要 宮坂委員 現供の丁寧な説明と供の成長と発達に配慮感染防止対策の実施をする。

「日本が対策でいるべきの着眼

「あること」などがあると
認識しています。

教育課程の基準によらずに特別の教育課程を編成して教育を実施することが出来るとあり、令和4年4月1日現在で全国に21校が設置とのことと聞いています。

そこでうかがうが、不登校特別校の設置について、県の

児童生徒安全課長 県教育委員会では、不登校特例学校は、一人一人の状況に応じた支援を行うための重要な教育機会の一つであると想定しておる。設置を希望する市町村に対して必要な支援

を行なうなど、連携して取組んでまいります。
宮坂委員　浦安市の令
5年度施政方針では不登校
特例校の設置について検討を進める等小され、県内で今後このようないふ市町村が出ていくのではと考へるが

市町村が不登校特校を設置する際に、県としてどのように支援するのか。

要 美 市 向 町 よ 設
 宮坂委員 不 望
特 例 校 設 置 を 目
市 町 村 の 意 見 を 丁 紹 に
入 れ 不 登 校 児 童 生 徒